

個 別 の 人 権 課 題			H I V感染者・ハンセン病患者等		
校 種	中学校	本 時 に 関 わ る 3 つ の 側 面	知 識 的 側 面	◎	
対 象 学 年	第 3 学年		価 値 的 ・ 態 度 的 側 面	○	
教 科 等	保健体育		技 能 的 側 面	○	
単 元 名	感染症の予防				

1 単元の目標及び計画

(1) 単元の目標

感染症は病原体が主な原因となって発生し、発生源をなくす、感染経路を遮断する、主体の抵抗力を高めることで予防できることを理解することができる。

(2) 単元の計画

- 1次・・・感染症の原因と予防
- 2次・・・性感染症とその予防
- 3次・・・H I Vについて（本時）

2 学習指導要領の該当箇所

中学校学習指導要領第2章第7節保健体育・第2各分野の目標及び内容〔保健分野〕

2 内容

- (1) 健康な生活と疾病の予防について、課題を発見し、その解決を目指した活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。

ア 健康な生活と疾病の予防について理解を深めること。

(オ) 感染症は、病原体が主な要因となって発生すること。また、感染症の多くは、発生源をなくすこと、感染経路を遮断すること、主体の抵抗力を高めることによって予防できること。

3 内容の取扱い

内容の(1)のアの(オ)については、後天性免疫不全症候群（エイズ）及び性感染症についても取り扱うものとする。

3 本時の目標

エイズの疾病概念や感染経路について理解し、感染のリスクを軽減するための予防方法について考察するとともに、エイズの蔓延防止の取組等について関心をもつことができる。

4 人権教育との関わり

この単位では、感染症の予防について学習する中で、個別の人権課題の一つである「H I V感染者・ハンセン病患者等」に関連する内容を取り扱います。具体的には、感染症及び性感染症の原因とその予防方法について正しく理解するとともに、エイズについても誤った知識や偏見ではなく正しい知識をもつことで感染を予防できることを理解することを大切にしています。

また、世界エイズデーでの取り組みを紹介することで、多くの分野の多くの人々がH I V感染者を支援したり啓発活動を行ったりしていることを知り、人権を擁護する活動に取り組んでいる人々の現状についての理解を深めることも大切にしています。

5 本時で育てたい3つの側面

知 識 的 側 面	人権を支援し、擁護するために活動している国内外の機関等についての知識
価値的・態度的側面	人権侵害を受けている人々を支援しようとする意欲や態度
技 能 的 側 面	人間関係のゆがみ、ステレオタイプ、偏見、差別を見きわめる技能

6 本時の学習過程

学習過程等	人権教育との関わり等	資料等
<ul style="list-style-type: none"> ・レッドリボン運動のポスターを紹介し、エイズについて関心を高める。 <div> <p>【課題】エイズとはどのような病気で、どのようにすれば予防できるのだろうか？</p> </div> <p>■学習活動</p> <p>【エイズとはどのような病気なのだろうか？】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・エイズとは、HIV という病原体（ウイルス）が引き起こす免疫の病気である。 ・感染してから発病するまでの潜伏期が長いことが特徴であり、その期間は無症状であり感染に気付かないこともある。 ・国立感染症研究所は最も深刻な感染症の一つに挙げている。 ・感染経路には「性的接触による感染」「血液を介しての感染」「母子感染」の3つがある。 ・3つの感染経路について、内容をノートにまとめる。 <p>■学習活動</p> <p>【「感染する」と誤解されやすい日常生活の行為にはどのようなものがあるか考え、資料で確認しよう】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・HIV の感染力は弱く、風呂、プール、握手、蚊、咳、くしゃみ、汗、便座、電車のつり革などは共用してもHIVには感染しない。 <p>■学習活動</p> <p>【エイズを予防するにはどうすればよいのだろうか。】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・感染者の血液、精液、膣分泌液に直接触れないようにすることが基本であることや、感染経路の約9割が「性的接触による感染」であることを資料から読み取り、それを避けることが最も有効であることを確認する。 ・感染の危険性を少なくするためには、コンドームを使用することが有効であることを確認する。 ・保健所や保健センターなどの保健機関で無料でHIVの検査を実施している。 <div> <p>【まとめ】エイズとはHIVウイルス感染が引き起こす潜伏期間の長い感染症であり、血液に接触すること以外の日常生活上の行為では感染せず、性的接触を避けることが感染の予防につながる。</p> </div> <p>■学習活動</p> <p>【世界エイズデーではどのような取組が行われているのだろうか。】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・12月1日は「世界エイズデー」であり、エイズの蔓延防止と患者・感染者に対する差別・偏見の解消を目的に、WHOが1988年に制定したもので、各国でエイズに関する啓発活動が行われている。 ・厚生労働省の資料やインターネットを使って、日本でどのような啓発活動が行われているか調べてみよう。 	<p>人権教育との関わり等</p>	<p>資料等</p> <p>○資料「レッドリボンのポスター」</p> <p>○資料「レッドリボン」</p>
	<p>【技能的側面】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人間関係のゆがみ、ステレオタイプ、偏見、差別を見きわめる技能 <p>【指導上のポイント】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・誤った認識から感染者や患者が偏見や差別を受けている状況があることに触れ、正しい知識に基づき判断する力が必要であることを説明する。 	
	<p>【知識的側面】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人権を支援し、擁護するために活動している国内外の機関等についての知識 <p>【指導上のポイント】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・正しい知識をもつことが自分も他者も大切にするにつながることを確認する。 	<p>○資料「保健センターのHP」</p>
	<p>【知識的側面】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人権を支援し、擁護するために活動している国内外の機関等についての知識 <p>【価値的・態度的側面】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人権侵害を受けている人々を支援しようとする意欲や態度 <p>【指導上のポイント】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本でもライブイベントや街頭キャンペーン等の啓発活動が行われており、芸能人等を含めた多くの人々がHIV感染者や患者を支援していることを知り、そのような活動に主体的に関わることもつ意義を考えさせる。 	